



平成 30 年 7 月 9 日
十日町市防災安全課

「避難支援セミナー2018 in 十日町」の開催について

地域防災活動の主体的な取組の推進のため、避難行動要支援者の避難支援をテーマにしたセミナーを開催します。

- 1 主 催 新潟県・十日町市
- 2 実施日時 平成 30 年 8 月 5 日(日)
午後 2 時 ～ 午後 4 時 (開場：午後 1 時)
- 3 会 場 道の駅クロス 10 十日町 (大ホール)
- 4 定 員 700 名
(一般 100 名、自主防災組織代表者 300 名、民生委員児童委員 160 名、
消防団 100 名、関係者 40 名)
※一般の方 先着 100 名を募集します。
- 5 内 容
○演 題 「共助の防災で犠牲者ゼロの地域づくり」
○テーマ “地域でどんな対応を取れば良いのか”、“平時からどんなことに取り
組めば良いのか”、“自主防災組織・民生委員・消防団はどのような
役割を担うのか”など、避難行動要支援者の避難支援について学び・
考える
○講 師 かただとしか 片田敏孝 教授 (東京大学大学院情報学環 特任教授)
- 6 そ の 他 入場無料、事前申込必要
- 7 添付資料 ・開催案内チラシ
・講師プロフィール

■お問合せ先

総務部 防災安全課 防災安全係
担当：高澤、水落、尾身
☎025-757-3197 (直通)

避難支援セミナー2018 in十日町

入場無料

地域で考えよう避難支援！

“地域でどんな対応を取れば良いのか”、“平時からどんなことに取り組めば良いのか”、“自主防災組織・民生委員・消防団はどのような役割を担うのか”など、避難行動要支援者の避難支援について学び・考える絶好の機会です。

講演

【講師】

東京大学大学院情報学環
特任教授

片田 敏孝 氏

【演題】

共助の防災で犠牲者ゼロの地域づくり

【ご紹介】

専門は災害社会工学。

内閣府中央防災会議や中央教育審議会をはじめ、国・外郭団体・地方自治体の多数の委員会・審議会に携わり、研究成果を紹介しながら防災行政の推進にあたっている。

内閣府中央防災会議「災害時の避難に関する専門調査会」委員を務める。



講演

平成30年8月5日(日)

14時～16時

(13時開場)

会場

道の駅クロス10十日町
「大ホール」

(十日町市本町6の1丁目71-26)

お問い合わせ先

十日町市防災安全課 ☎025-757-3197
新潟県防災企画課 ☎025-282-1606

参加申込は
裏面をチェック

片田敏孝

昭和35年 岐阜県生まれ

東京大学大学院情報学環 特任教授
群馬大学名誉教授

平成2年：豊橋技術科学大学大学院博士課程修了
平成2年：東海総合研究所 研究員
平成3年：岐阜大学工学部土木工学科 助手
平成5年：名古屋商科大学商学部 専任講師
平成7年：群馬大学工学部建設工学科 講師
平成9年：群馬大学工学部建設工学科 助教授
平成12年4月～平成13年9月：京都大学防災研究所 客員助教授
平成13年4月～平成14年3月：米国ワシントン大学 客員研究員
平成17年：群馬大学工学部建設工学科 教授
※平成26年：群馬大学大学院理工学府に所属名変更
平成22年：群馬大学広域首都圏防災研究センター センター長
平成29年：東京大学大学院情報学環 特任教授
群馬大学 名誉教授



■委員会・審議会等

- ・内閣府中央防災会議「災害時の避難に関する専門調査会」委員
- ・文部科学省：「科学技術・学術審議会」専門委員
- ・総務省消防庁「消防審議会」委員
- ・国土交通省：「水害ハザードマップ検討委員会」委員長
- ・気象庁：「気象業務の評価に関する懇談会」委員 などを歴任

■受賞歴

平成12年度 日本自然災害学会学術賞、横山科学技術賞
平成14年度 国際自然災害学会賞、土木学会論文賞
平成19年度 文部科学大臣表彰科学技術賞
平成23年度 日本教育再興連盟賞、日本災害情報学会 廣井賞
平成24年度 防災功労者内閣総理大臣表彰、海洋立国推進功労者内閣総理大臣表彰
ヘルシー・ソサエティ賞
平成25年度 宮沢賢治 イーハトーフ賞
平成27年度 和歌山県知事表彰

■著書

- ・「人が死なない防災」 集英社新書
- ・「3.11釜石からの教訓 命を守る教育」 PHP研究所
- ・「子どもたちに『生き抜く力』を ～釜石の事例に学ぶ津波防災教育～」 フレーベル館
- ・「みんなを守るいのちの授業 ～大つなみと釜石の子どもたち～」 NHK出版

専門は災害社会工学。

災害への危機管理対応、災害情報伝達、防災教育、避難誘導策のあり方等について研究するとともに、地域での防災活動を全国各地で展開している。特に、釜石市においては、平成16年から児童・生徒を中心とした津波防災教育に取り組んでおり、地域の災害文化としての災いをやり過ごす知恵や災害に立ち向かう主体的姿勢の定着を図ってきた。平成24年には、防災の功労者として2つの内閣総理大臣表彰を受賞している。

また、内閣府中央防災会議や中央教育審議会をはじめ、国・外郭団体・地方自治体の多数の委員会、審議会に携わり、研究成果を紹介しながら防災行政の推進にあたっている。主な学会活動として、日本災害情報学会副会長、日本自然災害学会評議員がある。